

もっと若者を元気に！北海道を元気に！

『ほっかいどう若者応援プロジェクト』発足！



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学生は今、「暮らし」「学び」「コミュニティ」の3つの危機に直面しています。中でも、アルバイトで修学費用や生活費を工面している学生は、大幅な収入の減少により授業料等の支払いに窮し、退学を考えている学生も少なくありません。

こうした状況の中、北海道生協連、連合北海道、北海道労働者福祉協議会、大学生協事業連合北海道地区の4団体が構成団体となる『ほっかいどう若者応援プロジェクト』が1月に発足され、2月8日(月)に、ホテルポルスター札幌にて共同代表3者(道生協連:麻田会長・連合北海道:杉山会長・労福協:出村理事長)による、プロジェクト設立と支援活動の概要などについて発表いたしました。会見で麻田会長からは「広く多くの皆様に実情を訴え、支援を呼びかけることが重要、お集りの報道関係の皆様は、広く道民に訴える大きな力を持っており、これからの社会を担うことになる前途有為な若者たちを、皆様の報道を通じて応援していただきたい」と呼びかけました。

翌2月9日(火)には北海道大学で実施された第1弾企画は、対象を一人暮らしの学部生や大学院生、留学生とし、事前に北大生協HPなどで学生に周知していただき、HPでの受付開始直後から学生達によるSNSや口コミなどにより広まり、9時間ほどで1,000名の申込み到達となる大反響でした。企画当日は事前予約制で2日に別けて配布、受付前にアルコール消毒、体温測定、会場スタッフはマスク、手袋着用など、コ

ロナ対策をしっかりとこない実施しました。食品を渡す際に一人一人に「頑張って！」と声を掛け、学生は「ありがとうございます！」と笑顔で帰っていきますが、何人かの学生に生活の話を知ると「アルバイトが減り、生活費が厳しい」「1日1食の生活を送らざるを得なくなっている」「生活費が苦しく、今年は1度も暖房をつけていない」などといった悲痛な声も多数あり、改めてコロナとの生活が1年経過しても、未だに学生が本当に困っていること、コロナ禍での弱い立場にならざるを得ない学生の存在そのものの問題の根深さを考えさせられました。



『ほっかいどう若者応援プロジェクト』では今後、地元の企業・団体にも幅広く寄付などの協力を呼びかけ、大学生協の仲間は勿論、JAグループを始め道内の協同組合陣営、企業・事業者も含めた幅広い連携でコロナ禍の下、道内の大学生協がある12大学でも同様の取り組みを実施する予定です。北海道生協連としてはこども食堂支援活動や学生支援活動など、これらの活動を継続的に様々な形で発展させていく縁の下力持ちとして今後も期待に応えていきたいと考えております。更なる応援、支援を宜しくお願い申し上げます。

【活動趣旨にご賛同いただける方をお待ちしています】

「ほっかいどう若者応援プロジェクト」では、活動趣旨にご賛同していただける企業・団体、個人の皆様からの寄付金、併せて企業・団体の皆様からは日持ちする食材・食料品の寄付を募集します。

私たちの活動に興味をお持ちの方は、右記のQRコード(携帯版HP)より、内容をご確認の上、ご支援を宜しくお願い致します。



※ホームページURL <https://www.wakamono-ouen.com/>

こども食堂北海道ネットワーク活動報告

全道で約200ヶ所の「子ども食堂」「地域食堂」活動へ～コロナ禍の下、増勢続く！

道生協連が発足から今日まで支えてきた「こども食堂北海道ネットワーク」もこの1月時点で72ヶ所の運営団体が集う組織に成長してきました。札幌市内はほぼ90%を超える参加状況になっておりコロナ禍の下での交流や支え合いに運営者の皆さんだけではなく、「支援したい！」と云う市民の皆さん、事業者の皆さんの善意がこのネットワークに集ってきているという事だと理解しております。

全国規模では5,200ヶ所の子ども食堂・地域食堂にまで増勢しており助け合いの一つの形として全国連携も様々に強化されており、引き続き自治体、町内会、事業者様等との様々な活動がコロナ終息を意識しつつ多様な活動として育まれていくもの確信しております。

2020年9月に新規開設された「川北おうち食堂」さんの様子です。町内会館の使用、町内会回覧版活用による開設案内、町内の皆さんからの運営費への寄付、近隣事業者、農業者様からの寄付、そして行政や当ネットワークへの参加連携等、地域ぐるみでの開催は他の実践者さんへの参考事例として大いに勉強になりました。



直近でも北海道コカ・コーラボトリング様、札幌東ライオンズクラブ様、エアドゥ様からの物品提供がありました。このコロナ禍の下、道内様々な企業様からの物品提供を受けさせて頂きましたがそのほとんどが「道庁」「札幌市」の関係部局様からの連携によるものでした。北海道生協連が支援する同ネットワークへの信頼度が飛躍的に高まった事によるものと理解し、2021年度の支援活動について改めて多様に展開する事を共有しているところでございます。



お知らせ！ ネット事務局会議で取組確認 Vol.5

2月10日、北農ビルにおいて協同組合ネット北海道の事務局会議が開かれ次のことが確認されましたので報告いたします。

事務局会議には、JA中央会3名、ホクレン3名、漁連、労金、ワーカーズコープ、道連からの参加がありました。

【協議事項】

- ① 総会日程について協議し、昨年の設立総会が書面議決での開催だったことを考え、今年の総会は出来るだけ多くの構成団体の実参加が保証できるように日程調整を重ね、6月上旬で総会が開催することが確認されました。
- ② 「2020年度到達点及び2021年課題整理」について、この間構成団体組織内での論議や事務局団体事務局のアンケート調査、環境課題でのヒアリング調査を実施し社会貢献事業やSDGsの取組に対する考え方について出された意見に基づき、3次案について提起、協議し、3月4月の事務局会議で（案）をまとめていく事が確認されました。

【報告事項】

- ① 金子勝オンライン公開講演会について
- ② こども食堂の取組みについて
- ③ ほっかいどう若者応援プロジェクト活動について

※金子勝オンライン公開講演会は初めての取組で不安もありましたが、317名の参加登録・280名の当日視聴（88%）視聴者アンケート結果ではオンライン・講師・内容とも好評で成功との評価で一致しました。